会 議 録

会議名称	令和８年度第１回博物館協議会
開催日時	令和８年７月 30 日（木）　午後２時から午後３時まで
開催場所	長野市立博物館　２階会議室
出 席 者	委員）相澤委員・浅倉委員・大串委員・大橋委員・橋詰委員・宮嵜委員・宮下委員・山貝委員（欠席：二星委員） 職員）石坂部長・今井館長・成田主幹・土屋主幹・細井館長補佐・畠山専門員・和田美術館長・前澤主査・樋口主査・石田主事・田村主事
議　　題	(1) 博物館の使命と資料の収集及び管理の方針等について (2) 令和７年度事業報告について (3) 令和８年度事業について (4) その他
議事内容	(1) 博物館の使命と資料の収集及び管理の方針等について **【議事内容】** 浅倉委員　・博物館使命から「長い歴史の中で、自然災害や戦争を乗り越えながら」という文言を削除した理由を聞きたい。 ・資料管理要綱を要領にすると、これ以降の要領との違いが分かりにくくなるのではないか。 ・個人情報を含む資料の公開・非公開について、どのように判断するのかを教えてほしい。 成田主幹　・他館の使命と比較し、自然災害や戦争まで踏み込んで書く必要はないと考えた。長野市の特徴については、後の運営方針の中で示すこととして削除した。 ・資料管理に関する規程は、条例や施行規則を補足する事務手続き的な内容なので、要綱ではなく要領でもよいのではないかという話が総務課から出ている。名称については、引き続き総務課と相談して決めたい。 ・個人情報が含まれる可能性のある資料の取扱いについて、難しい部分がある。 石坂部長　・使命に関して、自然災害や戦争に絞ってしまうと、博物館の役割が狭くなってしまう感じがする。 ・個人情報に関しては、資料の閲覧そのものを制限する考えではなく、出版など、二次利用する際の個人情報の扱いについて、適切な方法を考えていきたい。 大串委員　・博物館資料については、個人情報保護法の中でまだ整理されていない部分がある。これから公開の仕組みを考えていけばよいと思う。展示で一般に公開する場合と、研究者が調査のために閲覧する場合、論文などで公開する場合では、それぞれ分けて考えた方がよい。展示で公開できないからといって、閲覧ま

	で制限してしまうと調査研究が進まない。近現代の個人情報について、長野市立博物館として公開に関するガイドラインを作ることも、一緒に考えていければと思う。 ・「多様な文化と暮らしがはぐくまれてきた地域です」や「次世代に継承します」という表現は、何を継承するのかも含め、もう少し日本語を詰めた方がよいと思う。 ・展示する場合も、なるべく非公開にせず、観覧者が資料を見てどんな疑問を持つのかということも考えて、公開・非公開を判断していった方がよいと思う。 浅倉委員　資料の除籍要件にある「複製品であり」という表現が少し気になる。複製品が残っていたことで、実物がなくなった後も資料の情報を残すことができた例も多いので、慎重に考えてほしい。 (2) 令和７年度事業報告について **【議事内容】** 橋詰委員　友の会は、運営委員や会計事務の担い手が不足していて、存続が難しい状況と聞いている。年報に友の会や同好会のことが全く載っていないのは残念。年を取っても学びたいという人はたくさんいるので、同好会を含め、活動が続けられるよう博物館としてもしっかり考えてほしい。 細井補佐　友の会事務局から、運営委員や会計事務を担う人が見つからないという相談を受けている。今後の方針については、事務局と相談しながら決めていきたい。現時点で、友の会を縮小していくことは考えていない。 (3) 令和８年度事業について **【議事内容】** 浅倉委員　文化財保存活動は現在の担当者はだれか。川中島の戦い関連資料の購入費はどのくらい予算がついているのか。 細井補佐　文化財保存活動は竹下、樋口が引き続き担当している。川中島の戦い関連資料の購入費は約 50 万円である。 大串委員　・年報や事業計画には、活動報告だけでなく、市民が何を知りたがっているのか、何をやりたがっているのかも載せてもらえるとよいと思う。 ・アンケートなどで集めている市民の声が、協議会の委員にも届くような仕組みがあるとよい。 ・近代の御開帳についても取り上げてほしい。信仰の対象、文化財、観光など、いろいろな側面があると思う。特に明治から昭和にかけての御開帳について、関連する博覧会なども含

	めて展示すると面白いと思う。 今井館長　市民にどのような形で情報を届け、参加してもらうかについて、協議会の意見も聞きながら一緒に考えていきたい。 宮下会長　明治から昭和にかけて、善光寺の御開帳に合わせてさまざまな博覧会が開催され、多くの人が集まった。こうした歴史も御開帳の一つの側面として取り上げると、内容に幅が出ると思う。 樋口主査　前回の御開帳期間の特別展では、そういったテーマに触れている。図録の再販なども含めて考えていきたい。 山貝委員　夏休みに涼むために他施設のプラネタリウムを利用したが、実際に「ふらっと寄れる場所」としていいコンテンツだと感じた。集客の面でもプラネタリウムは強いと思う。一方で、場所やアクセスの悪さは課題だと思う。もう少し何とかならないか。 石坂部長　長野駅からのバスはある程度本数があるので、公共交通機関で来られることをもう少しアピールできるとよいと思う。 細井補佐　夏休みには学校へ企画展とプラネタリウムのチラシを配布している。恐竜や古生物の番組は特に人気があり、満席になって追加投影をする日もある。 相澤委員　昨年度の博物館まつりは来館者数が大幅に減っていた。何が原因だったのか、対策も含めて考えてほしい。 成田主幹　昨年度はチラシを電子データで配布したことが要因の一つかもしれない。今年度は紙でも配布するので、その結果を見て分析したい。広報にも力を入れていきたい。 石坂部長　学校へのチラシは教員の負担を減らすため電子データを基本としている。紙と電子、それぞれに良いところがある。 宮下会長　現在は広報の方法も過渡期にあると思うので、これからの広報のあり方を検討していってほしい。 相澤委員　長野市では粉もの文化の 100 年フード認定があった。これに関連することや長野市の現代史について、博物館としてももっと取り上げていってほしい。 樋口主査　粉もの文化の 100 年フードの認定にも博物館として関わった。現在は、戸隠竹細工の伝統的工芸品への登録に向けて、関係部署と協力して進めている。 (4) その他 **【議事内容】** 大串委員　子どもの作文や学級通信などには、子どもの目線から見た長野市の歴史が残っている。研究者や地域にできるだけ公開できれば、子どもの暮らしの歴史が分かってくると思う。長野市

	でこれまでどんな作文集が作られてきたのかを調べるだけでも、子どもの視点から見た近代史が見えてくると思う。今後、ぜひ議論していきたい。 大橋委員　子どもの作品は非常にデリケートで、公開にはいろいろな制約がある。学校側としてももどかしいところがある。実際には、学校にそうした資料があまり残っていないという現実もある。 宮嵜委員　最近は夏に外で遊ぶことが難しくなっている。博物館でも、室内で遊びながら学べるような、子どもが楽しめる工夫があるとよいと思う。
会議資料	資料１　使命、方針、要綱、要領などの関係性（案） 資料２　長野市立博物館の使命（修正案） 資料３　長野市立博物館資料管理要綱（案） 資料４　長野市立博物館の受け入れに関する要領（案） 資料５　長野市立博物館資料拡充方針（案） 資料６　長野市立博物館の受託に関する要領（案） 資料７　長野市立博物館の除籍に関する要領（案） 資料８　博物館資料の電子的記録（デジタルデータ）利用に関する方針（案） 資料９　令和７年度　年報 資料10　令和８年度（2026 年）事業内容
事務局（担当課）	観光文化部博物館（担当：土屋） 電話：０２６－２８４－９０１１